

令和元年度生野区区政会議(第1回くらしの安全・安心部会)  
 いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日: 令和元年5月28日(火)

場所: 生野区役所5階 502・503会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
杉山委員	<p>巽南地域の課題になるが、地域防災リーダー研修会を6回実施しているが、参加してそれで終わってしまっている感がする。研修会では、地域、せめて町会の役員さんが集まっていたいて、研修会で学んだことを地域に伝えるようにしていかなければならない。</p>	<p>—</p>
杉浦委員	<p>去年の台風21号、24号で大きな被害を受けて、今後、地震による避難所の開設以外に、台風の場合にも、積極的に避難所を開設するのかどうか。また、今後の取組みの部分で避難所派遣職員への装備品の強化とあるが、基本的に避難者が各自で用意する水や食糧などが、なかなか用意できないこともあり、装備品の強化で具体的にどんなことを考えているのか教えてほしい。</p>	<p>地震だけでなく台風の場合も、避難所の開設は、大阪市全体のルールの中で判断され、区に開設の指示がある。去年の台風21号の際は、なかなか市からの開設指示がなく、区独自で開設の判断をして混乱したこともあったが、今後は市全体のルールの中で、区として判断できるところは的確な判断のもと開設のルールづくりをしっかりとやっていきたい。避難所の装備品の強化については、当然、ある程度の想定避難人数に合わせた避難物資の確保はしていく。また、去年の災害を通じたご意見を受けて、LEDのランタンや、IP無線機などの装備も進めていきたい。なお、情報がなかなか避難所に入りにくい状況があったことから、台風24号の際にはラジオも配備したが、今年度はタブレット端末を避難所に用意して情報収集する手法も進めていきたい。</p>
室谷委員	<p>大事なことは、小学校、中学校の避難所に、ブロック塀のひび割れや体育館の屋根など大きな被害が出ているということ。これら避難所において、ブロック塀の点検はどうだったのか、また、小中学校の耐震調査はどうだったのか、今後の問題として、トイレの洋式化や、体育館の空調があるが、その計画はどうなっているのかなど、やはりきちんと報告をして今後の計画を立てるべきではないかと懸念している。</p>	<p>ブロック塀については、小学校、中学校の関係の部分については、必要なところは、順次、本市教育委員会で対応して工事を進めている。耐震については、小中学校の耐震検査は全て終わっていると聞いている。また、トイレの洋式化については、学校施設として順次進めており、災害時には各避難所に対して簡易トイレが一斉に設置できるような協定も結んでいると聞いている。体育館の空調については、国の動きもある中で、本市でも各区に1校ずつ空調を設置する動きがあり、生野区も中学校1校に設置する方向で進めている。</p>
室谷委員	<p>要支援者の避難計画については、モデル地域を決めて具体的な方法を情報共有して進めるとの説明であったが、災害は必ずやってくるし、いつ来るかわからない中で、どういう計画を立てているのか。</p>	<p>要支援者の避難について、日頃からの見守りが大切であることから、各地域の特色ある見守りの取組について情報共有会を行っており、今後も年に何回か行いながら、地域の皆さんとの顔つきができるように進めていきたい。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
栗信委員	<p>基本的には台風、地震への認識をもっと大掛かりに捉まえる必要がある。去年の台風で感じたことは、やはり住民自身がやっぱり大変なことがこれから起きるんだという認識、自意識がまだまだ足りないと思う。毎月地域での定例会などもあるだろうが、私たち住民には余り伝わってこない。避難所へ行く、自分でリュックサックに何か詰めてみるなど問題をきちんと認識できるような広報等によって、いろいろなことを伝えていってほしい。</p>	—
森口委員	<p>例えば、夏祭りのときに、防災マップについても、配れるのであれば配らせていただける、何でもそういう協力はできるので、防災も含めて区民に浸透していけるような取り組みをしてもらいたい。</p>	—
森口委員	<p>今後の取組みの中で、地震のときの避難のマニュアルと台風のときの避難のマニュアルが必要だと思う。地震の場合は、長期になり、台風の場合は1日、24時間ぐらいで終わるので、その辺りを分けて対策を施していけばいいと思う。</p>	—
辻浦委員	<p>最近、自転車の事故が多く、非常に自転車のマナー違反が多い。例えば、二人乗りや左側通行を守らない、信号無視や携帯のながら運転、こどものヘルメット未着用など。そのため、1例として、桃谷商店街では、自転車を歩いて押してくださいと放送をしているが、それでも乗っている人が非常に多い。鶴橋商店街千日前通り側でも、狭いのに自転車に乗っている人が非常に多く、交通安全週間の取組が何回か実施されているが、自動車が主な対象となっているように思われる。交通安全週間において、1日だけでも自転車を重点的に取り組んでいただきたい。</p>	—
森口委員	<p>生野支援学校の生徒さんたちが、小学生、中学生ができるだけ集団登校で通っているが、新しい道が出来て、車が増えて、結構スピードも出ているので、非常に危険を感じる。実際どのルートが子どもたちにとって安心、安全なのかというのも一度お話をさせていただければと思う。</p>	<p>通学路というのは、基本的に学校長が判断する場合が多い。地域の方も不安に思うほど、まちな様子もかわってきているということも踏まえて、まずこういう声もあるということも学校長に伝えて、どういう方針なのか、より安全な方向で考えていかなければいけない。もし何か課題があれば、一緒に考えたいと思っている。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
杉浦委員	<p>近隣の5階建てのマンションで外国人の居住者が大人数になっており、地域住民としては、何とかコミュニケーションを図りたいと思うが、なかなか図れていないのが現状である。コミュニケーションは必要と思うが、なかなか最初の垣根が超えられないのが実態で、何かいいアドバイスがあれば教えてほしい。</p>	<p>マンションの管理者を通じて居住者の外国人とつながったり、マナーやルールなどの必要な情報を伝えたりする方法もある。また、生野区は「やさしい日本語」の取り組みを進めているが、やさしい日本語は翻訳アプリで正確に翻訳されやすい利点もある。日常でのやりとり、コミュニケーションをどのようにしていくかがとても大切で、地域において、外国人とかがかわる機会を少しずつとっていただいている事例をまち協のブロック会議でも紹介するなど、情報発信や情報共有させていただく機会をふやしていきたい。生野区は日生日本語学園と協定を結んでいることから、コミュニケーションの場を提供したりするなどの相談には応じたい。</p>
森口委員	<p>今里ライナーが4月から走っていて、毎日すれ違いながら沢山の方が乗っているのかと気にしながらすれ違うが、乗車状況はどうなっているか。</p>	<p>おおまかな数字で、大体平均1台に10人ぐらい乗っている。4月は大体1日1,200~1,300人で、連休明けからは1,800人ぐらいになっているとのこと。利用率、利用者はだんだん増えていっている状況。</p>
室谷委員	<p>広報いくので今里ライナーのことを掲載していたかどうか。これは、生野区民の本当に意願であり、基幹を走る今までにない試み・実験なので、広く周知をしていくべき。</p>	<p>広報いくの3月号に路線図と一緒に掲載している。今後、広報紙の全戸配付になったタイミングとか、その後もできるだけたくさんの人に何度も告知をしていきたい。7月号では、夏休みイベントの特集もあるので、いまざとライナーで行けるイベントも紹介したい。大阪メトロが作成した、いまざとライナー読本というおしゃれなフリーペーパーもある。また、「いくのぐらし.com」のウェブサイトでも情報発信をしていきたい。</p>
室谷委員	<p>大阪市は、特定検診、がん検診の受診率がとても低い、さらに低いのが生野区である。目標の立て方について、保健福祉センターに何人が受診ということだけでなく、何パーセント上げるんだという計画を持ってしっかり目標数値を立ててやっついていかないと、なかなかこの低い受診率というのは上がらないのではないかと。</p>	<p>毎年度の区の運営方針の目標設定の必要性から、当該目標を立てており、医療機関をあわせた受診率は平成33年度に市平均に追いつくという受診率の目標を掲げてやっている。今年度については、他の区でやっているような新しいやり方を取り入れるなどし、いろいろと試行錯誤しながらなんとか区民の皆さんに検診を受けようという意識を持っていただくように努力していく。</p>